

2017年3月期 第3四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)
2. 業績のポイント
3. 主要製品の売上状況
4. 17年3月期 予想の修正について
5. 開発品一覧

【参考資料】

6. セグメント情報
7. 業績と修正予想について

2017年2月3日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2017年3月期 第3四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期	16年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	前年比	17年3月期 (修正予想)	前年比	17年3月期 (当初予想)	前年比
売上高	83,430	83,602	89,469	86,836	-2.9%	115,000	-3.8%	120,000	+0.4%
営業利益	13,503	10,691	14,666	7,313	-50.1%	10,000	-49.1%	14,500	-26.2%
経常利益	13,961	11,181	14,946	7,716	-48.4%	10,400	-48.0%	14,900	-25.5%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	9,272	9,571	10,831	4,723	-56.4%	6,600	-51.6%	10,700	-21.6%

17年3月期 第3四半期 連結業績(実績)

【売上高】 薬価改定の影響、長期収載品の処方数量減少により、国内新医薬品の売り上げは減少しました。一方、モンテルカスト(キプレス)のオーソライズド・ジェネリック(以下AG)発売等により後発医薬品の売り上げは増加し、国内における医療用医薬品事業の売り上げは前年を上回る実績で推移しました。他方、海外新医薬品は、前年に計上した一時金収入の反動減を要因として減少したため、全体の売上高は868億36百万円(前年比2.9%減)と減収になりました。

【利益】 薬価改定及び後発医薬品の売り上げウェイト増加を要因とする原価率の上昇、海外新医薬品における一時金収入の減少により、売上総利益は前年比57億37百万円減となりました。また、販売費及び一般管理費が16億14百万円増加(内、研究開発費7億05百万円増)し、営業利益は73億13百万円(前年比50.1%減)と減益になりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する米国反トラスト法違反を理由とした訴訟の和解関連費用約10億円を特別損失として計上したことから47億23百万円(前年比56.4%減)となりました。

17年3月期 連結業績(予想)

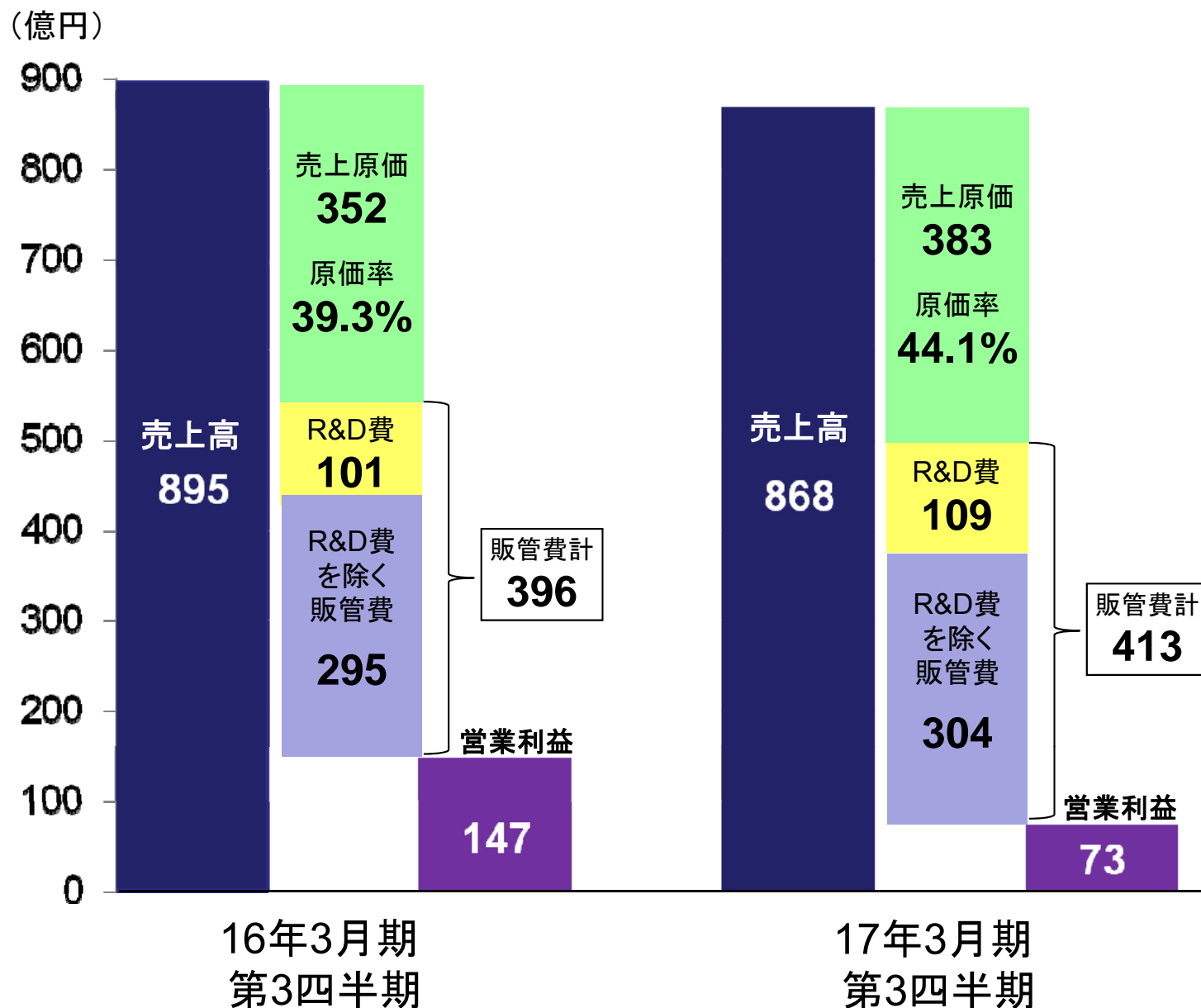
2016年5月12日付け「平成28年3月期 決算短信」にて公表しました2017年3月期の連結業績予想を以下の通り修正しました。

【売上高】 国内新医薬品では主力製品の売り上げが当初予想を下回り、海外新医薬品では導出品に関わる一時金収入が期ずれする見通しとなりました。一方、後発医薬品では、モンテルカスト(キプレス)のAGの売り上げが当初予想を上回る見通しです。これらの結果、売上高は全体として当初予想を下方修正いたしました。

【利益】 主に売上高が当初予想を下回る見通しとなったため、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたしました。なお、上記の通り、特別損失約10億円を当第3四半期に計上いたしました。

【配当】 2016年5月12日に公表しました配当予想(年間58円/株)の変更はございません。

2017年3月期 第3四半期 業績のポイント



➤ 売上高は前年比27億円減

- ・新医薬品(国内、海外)の売り上げ減
- ・後発医薬品の売り上げ増

➤ 売上原価率は4.8%上昇

- ・薬価改定の影響
- ・後発医薬品の売り上げウェイト増加
- ・海外導出品の一時金収入の減

■ 売上総利益は前年比57億円減

➤ 販管費は前年比17億円増

- ・R&D費は8億円増
- ・R&D費を除く販管費は9億円増

■ 営業利益は前年比74億円減

2017年3月期 第3四半期 業績の状況

(単位:億円)

(対前年)

	16年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	対前年
売上高	895	868	-27
医療用医薬品事業	853	825	-28
◆新医薬品	739	644	-95
○国内	688	641	-47
○海外	51	3	-48
◆後発医薬品	114	181	+67
ヘルスケア事業	42	43	+1

営業利益	147	73	-74
経常利益	149	77	-72
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	47	-61

※2017年3月期 第1四半期連結累計期間より、当社グループは報告セグメントの区分を変更しております。変更後の「医療用医薬品事業」の内容は新医薬品、後発医薬品、「ヘルスケア事業」はスキンケア・環境衛生・一般用医薬品他で構成しています。また、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

■売上高	868億円	(-27)
◆医療用医薬品事業	825億円	(-28)
●国内新医薬品	641億円	(-47)
16.3(3Q)	17.3(3Q)	
・キプレス※	320 ⇒ 260	(-60)
・フルティフォーム	52 ⇒ 76	(+24)
・ウリトス	57 ⇒ 58	(+1)
・ペンタサ	127 ⇒ 120	(-7)
・ムコダイン	99 ⇒ 75	(-24)
※モンテルカスト(キプレス)のAGを発売(2016年9月)		
●海外新医薬品	3億円	(-48)
海外導出品(FPR2作動薬プログラム)の一時金収入の減少		
●後発医薬品	181億円	(+67)
モンテルカスト(キプレス)のAGが伸長、その他GEの売上も増加		
◆ヘルスケア事業	43億円	(+1)
■営業利益	73億円	(-74)
◆営業利益率は8.4%と前年比8.0ポイント低下		
●原価率:前年比4.8ポイント上昇 (39.3%⇒44.1%)		
*薬価改定(杏林製薬:本体薬価ベース6%台後半)の影響、 後発医薬品の売り上げウェイト増加、海外導出品の一時金収入の減少		
●研究開発費率:前年比1.2ポイント上昇 (11.3%⇒12.5%)		
*8億円増加(101億円⇒109億円) プロジェクト進展による増加(KRP-AM1977X、KRP-114V)		
●販管費率(R&D費を除く):前年比2.0ポイント上昇 (33.0%⇒35.0%)		
*9億円増加(295億円⇒304億円) 主に人件費(退職給付費用)の増加		
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	47億円	(-61)

*特別損失:導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する訴訟の和解関連費用約10億円を計上

主要製品の売上状況

(単位:億円)

		第2四半期		第3四半期			通期		通期
		16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	16年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	対前年 増減率	16年3月期	17年3月期 (修正予想)	17年3月期 (当初予想)
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	188	178	320	260	-18.8%	441	319	333
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	30	45	52	76	+44.1%	72	101	129
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	37	38	57	58	+0.5%	75	76	78
	デザレックス (アレルギー性疾患治療剤)	—	—	—	7	—	—	19	19
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	81	79	127	120	-5.2%	161	155	158
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	59	44	99	75	-24.4%	130	97	108
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」※	—	18	—	53	—	—	71	41

※モンテルカスト(キプレス)のオーソライズド・ジェネリック(AG)

2017年3月期 予想の修正について

(単位:百万円)

	16年3月期	17年3月期 (当初予想)	17年3月期 (修正予想)	対当初予想 差額
売上高	119,483	120,000	115,000	-5,000
医療用医薬品事業	113,970	114,000	109,100	-4,900
◆新医薬品	98,506	92,400	84,900	-7,500
○国内	92,920	88,500	84,000	-4,500
○海外	5,586	3,800	800	-3,000
◆後発医薬品	15,465	21,500	24,100	+2,600
ヘルスケア事業	5,512	6,000	5,900	-100

【売上高の予想修正のポイント】

- ▶新医薬品
 - 国内：主力製品の売上げが予想を下回り、当初予想を修正
 - 海外：導出品に関わる一時金収入の期ずれにより当初予想を修正
- ▶後発医薬品：モンテルカスト(キプレス)のAGの売上げ予想を上方修正

【営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想修正のポイント】

- ▶主に売上高が予想を下回ったために、当初予想を修正
- ▶導出品(ガチフロキサシン点眼液)に関する米国反トラスト法違反を理由とした訴訟の和解関連費用約10億円を、特別損失として当第3四半期連結会計期間に計上

開発品一覧①(2017年2月3日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2017年3月期 第2四半期 11月7日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
PhⅢ (15年1月)	【米国、欧州、他】 米国ルク社 :PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 ルク社	膀胱のβ ₃ 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国ルク社とライセンス契約 (14年7月) キッセイ薬品工業(株)と共同開発・共同販売に関する契約を締結(16年3月)
申請準備中		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	<ul style="list-style-type: none"> ・グラム陽性菌から陰性菌及び非定型菌までの幅広い抗菌スペクトラムを示す ・嫌気性菌に対しても類剤と比較し強力な抗菌活性を有する ・優れた組織移行性により、高い臨床効果が期待される ・高い安全性(血糖値異常、光線過敏症、消化器症状他)が期待される 	
PhⅢ (16年3月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		

※アレルギー性疾患治療剤「デザレックス錠5mg」: 16年11月発売

開発品一覧②(2017年2月3日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (再) (15年8月)	ルツ社 Ph III	KRP-209	耳鳴	ドイツ ルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	ルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph I / II (15年7月)	【米国】桃太郎源 : Ph I / II 前立腺がん(14年5月)	Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業[NexTEP]への採択 (14年6月)

開発品一覧③(2017年2月3日現在)

導出品の状況

開発段階／海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	KRP-203	スイス ノバルティス	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト。免疫調節剤	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) GvHDでの開発集中を 決定(15年11月公表)
前臨床	—	米国 ブリストル・マイヤーズ スクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	BMS社とライセンス契約 (15年12月)

参考資料

2017年3月期 第3四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	868	-27	73	-74
医療用医薬品事業計	825	-28	71	-74
◆新医薬品	644	-95		
○国内	641	-47		
○海外	3	-48		
◆後発医薬品	181	+67		
ヘルスケア事業計	43	+1	0	0
調整額	—	—	2	0

(注)2017年3月期 第1四半期連結累計期間より、当社グループは報告セグメントの区分を変更しております。
変更後の「医療用医薬品事業」の内容は新医薬品、後発医薬品、「ヘルスケア事業」はスキンケア・環境衛生・一般用医薬品他で構成しています。
また、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

2017年3月期 第3四半期 業績と修正予想について

(単位:百万円)

	第2四半期		第3四半期				通期		通期
	16年3月期 第2四半期	17年3月期 第2四半期	16年3月期 第3四半期	17年3月期 第3四半期	対前年 差額	対前年 増減率	16年3月期	17年3月期 (修正予想)	17年3月期 (当初予想)
売上高	52,386	54,628	89,469	86,836	-2,633	-2.9%	119,483	115,000	120,000
医療用医薬品事業	49,741	51,936	85,313	82,508	-2,805	-3.3%	113,970	109,100	114,000
◆新医薬品	42,357	41,615	73,893	64,407	-9,486	-12.8%	98,506	84,900	92,400
○国内	41,762	41,272	68,794	64,116	-4,678	-6.8%	92,920	84,000	88,500
○海外	594	343	5,098	290	-4,808	-94.3%	5,586	800	3,800
◆後発医薬品	7,383	10,321	11,420	18,101	+6,681	+58.5%	15,465	24,100	21,500
ヘルスケア事業	2,645	2,691	4,156	4,327	+171	+4.1%	5,512	5,900	6,000
営業利益	4,099	3,663	14,666	7,313	-7,353	-50.1%	19,636	10,000	14,500
経常利益	4,266	3,921	14,946	7,716	-7,230	-48.4%	19,995	10,400	14,900
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,967	2,684	10,831	4,723	-6,108	-56.4%	13,639	6,600	10,700